

第59号

令和2年
5月1日

題字
植木 満
初代東進会会長

東進

発行所

土浦一高東進会

〔茨城県立土浦一高
進修同窓会東京支部〕

発行人

東進会会長 飯塚 哲哉

事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館6階

宮崎法律事務所 気付 東進会事務局

TEL (FAX) 03-5421-5321

E-mail: toshinkaisecretary@gmail.com ホームページ <https://to-shin-kai.jimdo.com>

提供 青木 功 (フォトグラファー 昭和50年卒)

■ 『英会話&スポーツ令和義塾を開設』
進修同窓会会長・東進会名誉会長
大野 金一(昭和31年卒)

■ 第16回アカンサスクラブ講演録
『土浦中心部の街づくり：
変わるもの、変わらないもの』
～街の履歴から見えてくる土浦の街の個性とは?～
三谷 八寿子(昭和61年卒)

■ 第17回アカンサスクラブ講演録
『自転車を活用したまちづくり』
石引 康博(平成5年卒)

■ リレー放談 第9回
『講談ブームによせて
落語と講談の違い』
立川志のぼんこと廣瀬敦(平成7年卒)

■ 『つくば市に科学版のディズニーランド!?
宇宙観光プロジェクト構想』
～茨城を若手で魅力のある県に

田中 克明(平成20年卒)

■ **令和2年度**
通常総会はオンライン会議で開催!

英会話&スポーツ

令和義塾を開設

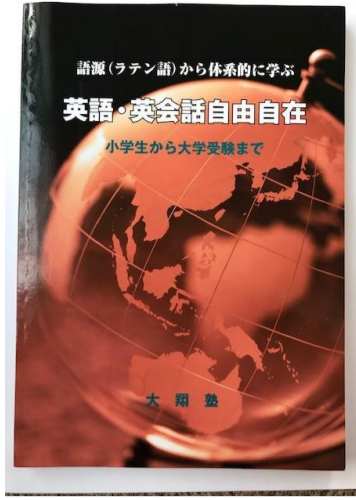
土浦一高進修同窓会会長

東進会名誉会長 大野 金一

(昭和31年卒)

私は、数年前出身地の牛久市の当時の市長に、これから世界で活躍する人を育てる英会話の寺子屋の開設を提唱し、一年がかりでようやく市内のいくつかの小学校で「土曜かつば塾」が開設されました。

私の英会話教育の考え方は、日本の従来の無駄な英会話学習を止めさせることから出発しています。(拙著「語源(ラテン語)から体系的に学ぶ英語・英会話自由自在」、東進会第一回アカンサスクラブ「一時間で覚える英会話」)



CD付改訂版準備中

ひとことと言うと、「英会話」と「英語」の学習を分ける、ということですが。つまり、日常繰り返しされる「英会話」は精々10くらいのフレーズに過ぎません。あとは、その時に交わされる話題の中身で、表現方法(英作文)の動詞はbe動詞か否かの二つで

す。生徒が理解できる日本語の概念に依じて具象的なものから抽象的なものへと語彙(単語)を覚えていけばいいわけです。その単語は、英国本来のゲルマン語由来の1200語(これだけで生活はできる)と、のちに英国の公用語にされたフランス語の語源ラテン語の語根を380覚えるだけで、それから派生した2800の単語を覚えられ、大学受験もこれだけで十分です。単語の学習は自習ででき、意味のある語源から覚えるので、一旦覚えたら忘れません。

従来の英会話教材は、各場面で使われるであろう「英文」を何の有機的関連もなく漫然と網羅しています。だから何巻にも及ぶ商材として発行されています。日本語に「日本語会話」という学科がないことを考え合わせれば、日本の英会話学習方法がいかにおかしいかわかるでしょう。誰しも、英会話学習を途中で挫折した経験があると思いますが、それは、当然の帰結です。

昨年から小学校でも英会話が正規の授業として義務づけられています。しかし、新しく作られた教科書は、従前のものと変わりません。これでは、教える教師も従来の英会話学習をしなければならぬし、生徒も無駄な時間を費やす結果になってしまいうでしょう。

そもそも、実際に英会話が必要となるのは、10年も先。いま英語でべらべら会話できても、帰国子女の場合と同様、実際には役に立たず、全部無駄になってしまうでしょう。小学生(できれば0歳児)から日本語のローマ字を教える前に英語の発音(母音とthとf・vと語尾のl・ll)と簡単な日常会話を教えておけば十分です。

将来外国人の言葉に慣れ、スムーズに会話できるためには、そのような環境に三か月置けば十分でしょう。最近問題になった共通一次試験でも、たどたどしくても正確な英文法に基づいた表現(作文)能力があれば問題ありません。



1階が教室・事務所・ギャラリー 2階は居室
(教室の赤いドアが設計者のセールスポイント)

塾にスポーツを主な柱に加えたのは、今の子どもたちは運動をしない、親が怪我を恐れて運動をさせない、塾通いで運動をする時間がないことを考えてのことです。



正面

「ギャラリーひたち野」のデザインは西丸画伯

「柳澤運動プログラム」を提唱している筑波大の柳澤教授の調査によると、運動がコミュニケーションを司る前頭前野と大きく関わっているとされています。簡単にいえば、人間は、右脳でボールを感知すると、前頭前野がその落下地点を計算し、頭頂部の運動野に命令を送り、走って捕球する、という一連の動きをします。ところが、体の運動をしないでゲームばかりしていると、右脳で画面の動きを感知したらすぐ運動野に直結し、中間の前頭前野を使わないので、他人とのコミュニケーション能力が低下し、引籠り、陰湿ないじめ問題などを引き起こしていると考えられます。

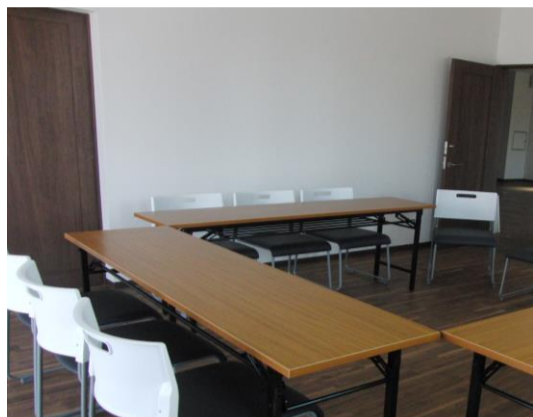
それに、先日のNHKの報道によると、現在の子どもたちは世界的に近視率が高くなり、日本の視力1.0以下の小学生は三人に一人、高校生では二人に一人だそうです。その原因は

室内でスマホゲームなどをして、外で遊ばないので目の露出機能が発達障害を起こしており、眼鏡をかけても矯正できず、遂には失明するとうことでした。日本ではまだ深刻な問題とは認識されていませんが、東南アジア、例えば台湾では、法律で児童に一日最低二時間は外で授業させるよう義務付けているそうです。英会話自体は、小学校ではまだ比重が低いし、そんなに時間が必要ないので、運動を主体に考えています。前頭前野が発達して集中力を上げた方が受験勉強にも効果的でしょう。

塾教室は、土浦一高旧本館を思わせる？デザインにしています。土浦一高昭和41年卒の飯塚泰助君が設計から施工監理を引き受けてくれたので、安心して任せられました。ボール投げ(児童には、走る・跳ぶ・投げるの三拍子揃ったハンドボールが最適)のゴールネットとバックネットも、同昭和39年卒の中村創蔵君(土浦ナカムラスポーツ)に寄贈していただきました。館内にはギャラリーを設け、同昭和40年卒の西丸式人画伯のスケッチ画、水彩画を展示しています。

令和義塾の実際の開講は4月からと予定していますが、世間の学習塾や受験塾とは違うので、親に理解してもらうには時間がかかるでしょう。教室には、法律事務所を併設する(現

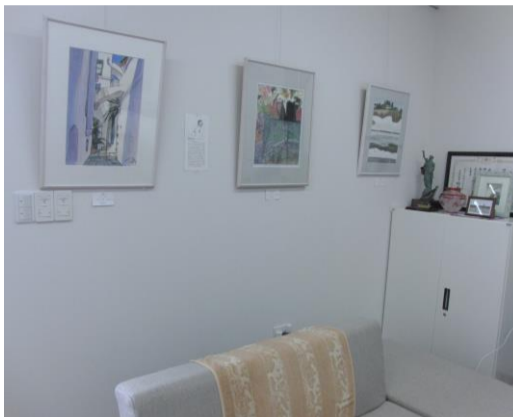
在の銀座の事務所は長男に任せる。)ことにしているのです。じっくり構えていく予定です。外国人との英会話実践は、土浦一高在校生の夏休み特別授業として利用してもらえればと思っています。



中教室



教壇を立ち上げるとハンドボールのゴールポストになる
ネットの代わりに反発系ウレタン



事務所兼ギャラリー
(西丸式人画伯の常設展示場)

第16回アカンサスクラブ講演録

『土浦中心部の街づくり：変わるもの、変わらないもの』

街の履歴から見えてくる

土浦の街の個性とは？
三谷八寿子(昭和61年卒)

(令和元年9月5日実施)

とある東京都心の再開発計画に携わり、街の履歴を調査していた。街の成り立ちを理解することは、将来の街のあり方を決めてしまう開発を、過去から未来に繋がる街の物語の一部として成立させるために必要な作業なのである。この対象地には「風致地区」という風光明媚な名所や緑豊かな環境を保全するための規制がかけられていた。その調査の過程で、

土浦市の「風致地区」の決定資料を偶然発見した(写真1)。郷土の風景、亀城公園と桜川がその保全対象だった。亀城公園は土浦小学校時代、校庭のような場所であり、桜川も桜と花火の思い出深い場所だ。昭和初期の資料に心がときめいた。

戦前、都市計画は国が決定していた。土浦の「風致地区」は昭和12年4月12日、林銑十郎の内閣が決定していた。「亀城公園」は、松や柏のなかに櫓などがあり、古城の面影を宿した町民の休養のための場所だった。そして「桜川」は、中家村凱旋橋(現・水神橋)から河口にいたる約4キロに渡り、大正4年の大正天皇の即位

大典を記念して桜が植樹され、水郷地方特有の風光を有していたという。17世紀に整備された土浦城は、堀が一部埋め立てられているが、基本形状は変わらず、昭和9年の改修で旧二の丸にひょうたん池等を整備し、現在の公園の姿に造り替えられた。

「土浦八景」の一つに、「旧城の暮雪」がある(写真2)。現在の土浦市立博物館の前から本丸北側を見た風景で、今では冬でも鬱蒼と茂る樹林地に西櫓の外形もかすかにしか見ることができないが、何となく昔が忍ばれる。

昭和13年頃とされる皇軍慰問用葉書に、桜川の桜祭りの様子が写真に収められている。

“CHERRY BLOSSOMS OF THE TSUCHIURA BANK.”

「土浦堤の桜」と題された一連の葉書には、沿岸の満開の桜、堤から橋まで溢れるほどの花見客、水上に浮かぶ多くの舟を背景に、旧制土浦中学の生徒と思しき学ランの5人の男子生徒が手漕ぎボートの上で撮影者に向かって笑顔を投げかけている(写真3)。30人ぐらいの人が舟の上から堤の桜を眺める写真もある。舟遊びこそ見られなくなったが、今も桜川の桜は土浦の春の代表的風景だ。

亀城公園も桜川もその風景を将来に残そうとした昭和初期の先人の意思と努力により、現在に受け継がれた。戦後、土浦を始め日本中の都市

が激変したなかで、それらは何となく残ったのではなく、残す意思の結果であることを強調しておきたい。

では、なぜ「風致地区」として残す意思を示す必要があったのか。決定資料には、都市化により破壊される恐れがあるという理由も示されている。昭和12年当時、土浦は「亀城公園」や「桜川」の風景の破壊を懸念されるほどに繁栄していたということになる。

土浦は、17世紀に城下に水戸街道を通して人と物を流通させるように整備され、18世紀半ばには桜川や川

口川まで街を拡張させていった。明治期に常磐線を霞ヶ浦近くに誘致し、土浦を水害から守るための堤としたことが近代都市化の礎となった。大

正初期には川口川沿い（桜橋周辺）に繭糸市場が整備され、市場機能の合間に物産館として活用したことが豊島百貨店（しばらく後の京成百貨店）を生む。関東大震災後に川口川に不法占拠のバラックが形成されたため、昭和10年にはそれらを撤去し、川の埋立てで祇園町がつくられた。昭和9年には国道六号が、昭和11年には亀城通りが整備された。

昭和12年当時懸念されていた都市化の影響とは、国道六号や亀城通りの整備、川口川埋立てとそれに伴う祇園町の建設が亀城公園周辺で展開

され、街が劇的に変化したことだったと考えられる。そしてその構造は現在まで影響を与えている（写真4）。

戦後、残る川口川を埋立て市営駐車場として利用し、高架道路とモータール505の建設へ。昭和末期に訪れた劇的な変化だった。高架道路は、科学万博を契機に筑波研究学園都市と繋がることで将来の土浦中心部が発展するだろうという願いを込めて整備された経済成長時代の遺産である。ともあれ昭和期は、土浦の中心部を水の都から車で通過する街へと変えた時代でもあったといえよう。

水戸街道から高架道路に至るまで、土浦は外から人と金と物を取り入れるように街を変えてきた。それは商業地である土浦の街の個性でもある。他力に頼り適応させてきた一方、自

らが物を作り出すこと、自らの動機で変化することには不向きな体質になつてしまったようにも思える。保存か開発かという二項対立ではなく、街が持続することに街の変化は不可欠だ。思えば高架道路は、常磐新線の代替え施設で、その不可能とされた常磐新線は、つくばエクスプレスとして整備された。完成から35年経った現在、当初目的を達成したこの遺産をどう未来に引き継ぐか、考えるべき時期に来ていると思う。

（アーバンデザインスタジオ LLC 代表・東京電機大学大学院非常勤講師）

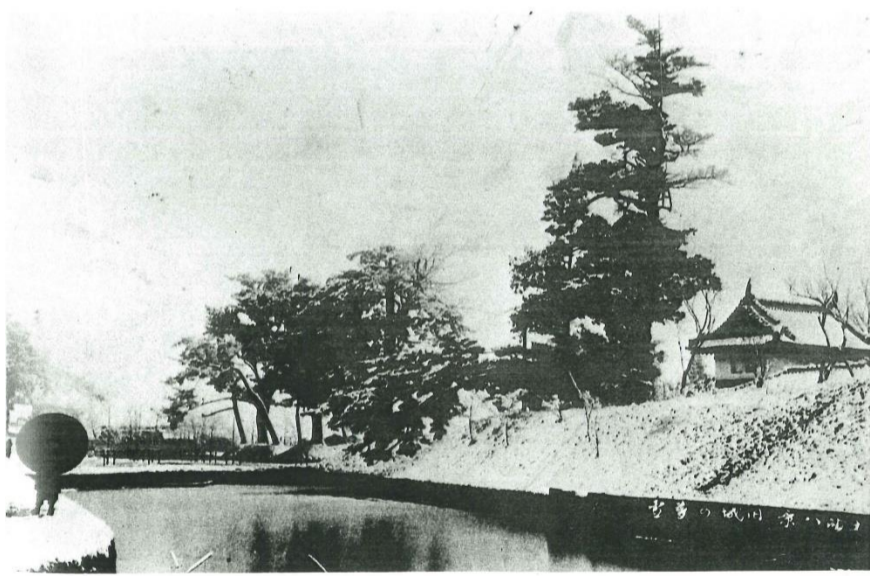


写真2 明治末期の亀城公園の西櫓周辺：土浦八景の一つ「旧城の暮雪」 出典：市川彰編『写真集明治大正昭和土浦 ふるさとの思い出140』国書刊行会,1980年,102頁



写真1 風致地区決定資料（昭和12年）より：中心に亀城公園、市街地の南側に桜川が位置する。 出典：国立国会図書館デジタルコレクション



写真4 旧祇園町の広場整備（2019年7月6日筆者撮影） 実際の川口川は両側の道路にかかるほどの広がりがあった。正面に高架道路が見える。市民の記憶に残る風景になっていくだろうか。

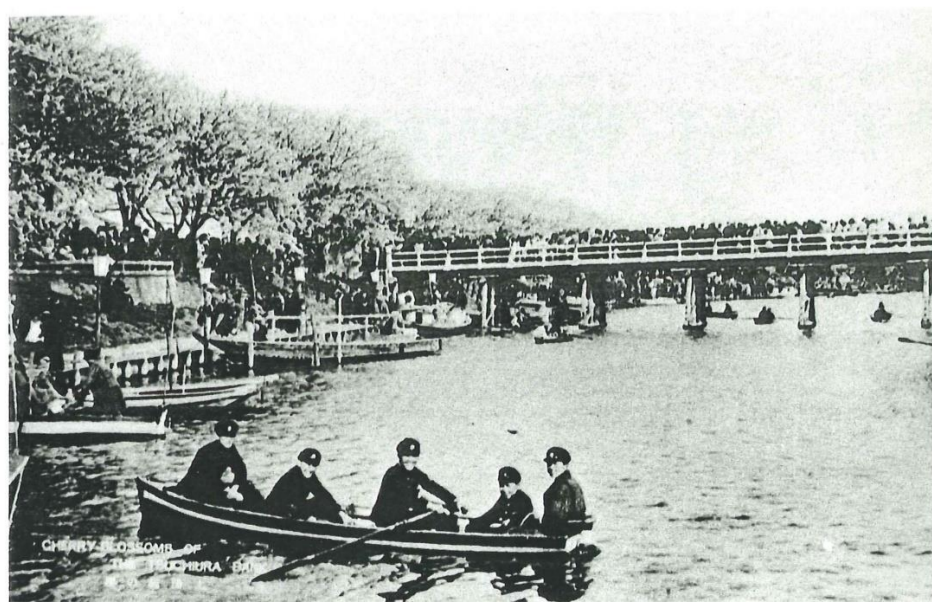


写真3 桜川の満開の桜と土浦中学校生徒と思しき男子生徒たち 「土浦堤の桜」（皇軍慰問用葉書） 出典：市川彰編『写真集明治大正昭和土浦 ふるさとの思い出140』国書刊行会,1980年,90頁

**第17回アカンサスクラブ講演録
「自転車を活用したまちづくり」**
石引 康博(平成5年卒)

(令和元年12月5日実施)

○自己紹介

真鍋小学校↓土浦二中↓土浦一高と、高校卒業まで真鍋地区で過ごす。大学卒業後、土浦市役所入庁。

○はじめに

皆さんが青春時代を過ごされた土浦市に対しては、「駅前が廃れ、かつて繁栄していたまち」というイメージが強いのではないのでしょうか。

しかし、ここ数年で市役所や図書館の移転など土浦駅前は大大きく変わり、さらに、人が訪れる自転車のまちとして大きな変貌を続けています。

○当市の自転車環境

・つくば霞ヶ浦りんりんロード

土浦市域には、もともと旧筑波鉄道廃線敷のつくばりんりんロードと霞ヶ浦自転車道という2つのサイクリングコースがあったのですが、これら2つが当市を結節点としてつながり、平成28年11月に全長180kmの「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が開通しました。

広域的なコースですが、県、沿線市町村がデザインを統一して整備を行うことで、サイクリング環境の価値向上を図っています。

・プレイヤー土浦

現在の土浦駅は「プレイヤー土浦」となっており、B1階と1階は茨城県と当市が共同で整備したサイクリング拠点「りんりんスクエア土浦」となっています。サイクルショップ(レンタサイクルあり)、駐輪場、ロッカー、シャワーなど輸行者向けの機能を備えており、土浦駅まで手ぶらで来て、レンタサイクルを借りてサイクリングを楽しむこともできます。

プレイヤーには、4月にレストランゾーン、5月にフードマーケット・書店が順次オープンしましたが、令和2年3月、星野リゾートが軽井沢に次いで全国で2番目のBEBBブランド「BEBB5土浦」というサイクリングホテルをオープンします。

・りんりんポート土浦

当市が、川口運動公園の隣に、車で来るサイクリストの拠点として整備した施設で、コースに直結していますので、車で来てすぐにサイクリングを楽しむことができます。また、広域レンタサイクル、広域サイクリーズの拠点に隣接していますので、レンタサイクルを借りてすぐにサイクリングを楽しめますし、船に自転車ごと乗って潮来市や行方市からスタートすることもできます。(令和2年度からは、かすみがうら市が寄港先に加わります。)

・土浦駅東口サイクルステーション

以前は「きらら館」というお土産屋だったスペースにロッカーやシャワーを整備し、霞ヶ浦方面を楽しむ

輸行者に多く利用されています。

○ソフト面の取組について

・広域レンタサイクル事業

参加8市町内の10施設であれば、予約によりどの施設でも借りて返せるレンタサイクルです。ロードバイク、クロスバイク、電気バイクを揃えています。例えば、土浦から岩瀬まで往復すると80kmですが、岩瀬で自転車を返却すれば40kmとなりますので、安心してサイクリングを楽しむことができます。

・サイクルーズ事業

サイクルーズは、サイクリングと船での霞ヶ浦遊覧の両方を楽しめる事業です。広域レンタサイクルと同様に、例えば、土浦港から自転車と一緒に乗船して、潮来で降りれば40km、行方で下りれば30km弱と、安心してサイクリングを楽しめます。

・自転車通勤

昨年度、市職員に自転車通勤を体験してもらった結果、自転車通勤すると痩せる。そして血液の状況も良くなる。気分良く仕事を開始できるということが分かりました。

現在は、毎月1週間、自転車通勤週間を設定しています。

・情報発信

県、市のホームページでは、コース、サポートステーション、トイレ、イベント、優待店情報など様々な情報を掲載しています。また、結城市、筑西市、桜川市及び当市では、「ちやりさんぽ」というスマホ用サイトを

共同で運用しています。

○ナショナルサイクルルート

11月、つくば霞ヶ浦りんりんロードを含む3ルートが、国から認定されました。これにより今後は、国による直接的・間接的な取組も期待されますし、世界中のサイクリストへの様々な媒体による情報発信も期待されると思います。国資料では当市はゲートウェイとして紹介され、先述の施設についても取り上げられています。

○おわりに

紹介したいことが多すぎて施設や取組の件が長くなってしまいました。が、簡単にまとめたと思います。

当市では、様々な交流人口・定住人口増加策を講じていますが、他市町村も類似の事業を行っていることから差別化が図れず、人口減少が進んでいます。

しかしながら本稿執筆中の2月、テレビ東京の番組で茨城県が人気急上昇1位として取り上げられ、りんりんロードとBEBB5が放送されるなど、自転車を活用したまちづくりが花を咲かせ始めています。また、本稿では触れていませんが、民間によるイベントや優待等の取組も年々増加しています。

今後、より一層の協働や支援の充実に努め、自転車を一つの契機として市全体の活性化を図ってまいりますので、同窓生の皆様には、当市の応援をよろしくお願いいたします。

第9回リレー放談

『講談ブームによせて』

落語と講談の違い

立川志のぼんこと廣瀬敦

(平成7年卒)

講談ブームの火付け役、神田松之丞さんが本年2月に六代目神田伯山を襲名し真打昇進。講談が見直される世の中になりました。そこで興味をもたれている方もいらっしゃるようですが、何せこれまで見過ごされていたので知らないことだらけ。

そこでと講談の違いに触れながら、講談とは何ぞや、ということを知っていたいただき、ついでに私の属しております落語界の話にも興味をもっていました。ただこうという軽い下心があります。

大衆演芸の中で落語のお隣りにございますのが講談でございます。座布団に座り一人で何役も演じ分けて物語を進める点は共通しています。落語と講談の大きな違いは、まず演者の前に釈台を置くか否か。講談は講釈とも言います。講釈をする台↓講釈台。略して釈台。落語では基本釈台は使いません。

「上方落語で使ってるの見たことあるよ」という方もいらっしゃると思いますが、それは見台と膝隠しというもので、釈台とは別物です。釈台を使う講談の世界では単に「机」とも言います。

使う道具は扇子と手ぬぐい。筆で手紙を書くしぐさなど、それらを使

って見立てるのは共通です。講談ではそれに張り扇が加わります。張り扇は釈台にパンパン叩きつけて物語をテンポよく進めるために使います。よく使われるのが修羅場読み、軍談・軍記物です。私の属している落語立川流では修羅場読みの基礎となる三方ヶ原軍記(武田信玄と徳川家康の戦)の一部が必修科目となっております。

物語を進めて行く上で、会話が中心なのか、ナレーションが中心なのか、も大きな違いです。ひとつのこゝとを伝えるのに落語と講談では大きく違います。

「暑いねえ。こんちは、大家さんいますか？」

『誰だい？八つつあんか、まあまあお上がり』

右の落語の会話が講談になると

上から照り下からは蒸す、煮えつくような夏の日、熱気のコもる狭い路地のどんづまりの裏長屋、家主太郎兵衛方の前に立ちました大工八五郎。腹掛け半纏股引。手ぬぐいで汗ふきながら、暑さのために開け放たれた障子戸の奥に声をかける。

「暑いねえ。こんちは、大家さんいますか？」

『誰だい？八つつあんか、まあまあお上がり』

という具合。落語は声の調子やしぐさなど演じ方でナレーション部分を補うと言い換えてもいいでしょう。一席の話は落語は「しゃべる、申し

上げる」と言います。一方、講談は「読む」と言って、かつては台本を持って読み上げていたことから、そう言われます。現在は無本で高座に上がる人が多いです。「読む」というところから、登場人物と距離を取り、あまり登場人物に感情を込め過ぎない、演じ過ぎないことがよしとされてきました。これは観客に物語を味わう余白を残すことが美学とされてきたためです。

これに反して自らを主張し、汗ダラダラの熱量で、余白もへたくれもなく感情を込めて、登場人物と自らと重ね合わせて演じ切り、ダイレクトに物語を伝えることで人気を獲得した当代伯山は、ひとつの革命であつたと言えます。

それから演者の呼び方が違います。落語は偉くなると師匠。講談は先生。団体のトップ、落語は会長。講談は頭取、銀行みたいですが。先生と言われるだけあつて講談は話の内容も違います。落語は架空の庶民のたわいもない失敗話が中心。一方講談は歴史上の人物、武士などの武勇伝・苦心談・立身出世物語が中心です。

先に取り上げた修羅場のある軍談・軍記物・御家騒動物など武士が中心のもの。その他庶民が登場するのはお裁き物・侠客物・白波(泥棒)物・名人物・怪談物などです。

落語と講談の違いについて、大師匠の立川談志の端的な表現が残っています。

「忠臣蔵で討ち入りに参加するのが講談で、逃げちやうのが落語だ。」

講談にはたくさん読みの物が残っておりますが、落語と違って一席で終わらず、その多くはひとつの話で毎日口演しても、ひと月ふた月かかる連続読みがほとんどです。豊臣秀吉の一生をつづった太閤記は一年かかると言われています。

生息する数も違います。落語家は東西合わせて850人前後。講釈師は100人いません。天然記念物のイリオモテヤマネコより少ないそうですが、昔はもつといたそうでした。

落語は都内に4軒、年中やつてる定席と呼ばれる劇場が残っておりますが、講談は現在定席がない状態です。昔はエンタメが少なかったので、落語の寄席だけでなく講釈場が町内に1軒や2軒あつたんだそうで、

講釈場 いらぬオヤジの捨て所

と川柳にもございます。オジサンは昔から出世話が好きだし、どこかに追いやられる生き物なのね。

当代伯山は講談ブームに乗じて講釈師の人数の増加とそれによる裾野の拡大、合わせて講談の定席をつくることまで視野に入れているのと。後輩ながら「ジャンルを背負ってるなあ」と感心するばかり。

お前は落語界を背負っていないのか!・・・スミマセン。私の落語会にたびたび足をお運びいただいた、昭和41年卒の安井恵子先輩にバトンを渡してお開きと相成ります。

『つくば市に科学版の

デイズニールランド!?

宇宙観光プロジェクト構想』

茨城を若手で魅力のある県に

茨城から日本の科学技術を盛り上げる

田中 克明(平成20年卒)

(アカンサスクラブ令和2年3月実施
予定がコロナウイルスのため延期)



(株)amulapoが進める宇宙観光プロジェクト構想

アポロ11号の月面着陸から50年
が経った現在、世界の宇宙開発は新
たな局面を迎えている。これまで、
宇宙航空研究開発機構(以下、JAXA)
やアメリカ航空宇宙局(以下、NASA)
などの国家を中心とした宇宙開発が
一般的であった。それが、民間のス
タートアップなどが中心となって

宇宙開発をビジネスとして進める、
New Space と呼ばれる動きが盛ん
なっている。
筆者は、民間発の月面探査を目指
す(株)ispace(アイスペース。以下、

ispace)にてエンジニアとして月面
水資源を探査する月面探査車(以下、
ローバー)の開発を行っている。月
には数十億トンの水資源が存在する
といわれており、水素と酸素にわけ
ることができることから、将来の宇
宙での重要なエネルギー源となる。
同社では、2021年に最初の月着
陸ミッション、2023年にローバ
ーを用いた月面探査ミッション
HAKUTO-Rを進めている。

宇宙産業は前述のように盛り上
りつつあるが、特に日本においては
それらに対する国民的な理解が低く、
将来への投資があまりされていない。
例えば、JAXAの年間予算額が300
0億円に対して、NASAでは4.5兆円
と15倍もの差がある。ispaceにおい
ても、会社設立当初は宇宙ビジネスに
対する理解が得られず、投資家から
の資金調達やエンジニアの確保に苦
労をしていた。これは、国力だけ
なく、日本国全体で科学技術に対す
る理解が得られていない結果であり、
将来の豊かな日本を創るためにさら
なる国民の理解が必要である。

科学技術に対する国民の理解を得
るためには、科学技術の発信が必要
であり、「科学技術コミュニケーション
」と呼ばれる活動が重要である。
特に職業的な科学者が主体となる
「アウトリーチ活動」や「科学技術
普及活動」が科学技術の知識や意義

を正しく伝えるうえで重要とされて
いる。日本では、文部科学省を主体
として、子どもたちの理科教育の強
化や、若い世代の理科離れや理工系
離れへの対策に力が入れられている
が、まだまだ国民全体の大きな理解
を得るにはいたらず、民間を巻き込
んだ大きな動きが必要である。

筆者は大学の博士課程での研究や
ispaceでの開発を通してこれらの社
会課題を感じた。そこで、課題の解
決に向けて、筆者自ら(同)Yspace(ワ
イスペース)を創立し、バーチャル
リアリティなどの3次元可視化技術
(VR技術)を利用し、非専門家に対し
て宇宙を体験していただける機会を
創造し、宇宙産業の促進に向けた事
業を続けてきた。事業には、茨城県
庁の宇宙ビジネスに対する補助金等
を活用し、官民で協力体制を築きな
がら進めてきた。3月には、事業の
内容や規模を拡張させるために、
(同)Yspaceの代表を辞任し、
(株)amulapo(アミュラポ)を創業し、
代表として茨城県での事業に携わる。

事業を進める中で、茨城県での観
光業における課題も見えてきた。茨
城県は、都心からのアクセスこそ良
く便利なものの、逆にその近さが都
内への帰宅を促してしまい、宿泊せ
ずに都心へ帰ってしまう。これによ
り観光消費額が低下し、県全体で思
うような観光収入が得られていない。

また、魅力的なコンテンツが少なく、
PRやブランディングも弱い。ブラ
ンド総合研究所(東京)による「地域ブ
ランド調査」では、茨城は都道府県
の魅力度ランキングで7連続最下位
の47位である。県庁も大井川知事が
進める営業戦略部にて観光誘客に向
けたPR戦略を進めてきているが、
その効果が形として現れるまでに時
間を要している。そこで、amulapo
では宇宙体験のコンテンツを開発す
るノウハウを活かし、つくば市に科
学版のデイズニールランドとなる、科
学技術を観光資源とした新しい形の
テーマパークを創る宇宙観光プロジ
ェクトの構想を立ち上げた。これに
より、茨城県を盛り上げ日本の科学
技術の促進に貢献することができる。

宇宙観光プロジェクトは、宇宙体
験を中心としたアミューズメントの
仕組みを、つくば市にある既存の研
究機関科学館、飲食店、ホテル、街
中に導入していくものである。宇宙
産業と最新のICT技術を融合させ、
デジタルコンテンツを中心に各拠点
を宇宙でブランディングし、つくば
で宇宙旅行が体験できるといふ体験
の仕組みを創出していく。これによ
って、非専門家も宇宙を中心とした
科学技術に気軽に触れることが可能
となり、徐々に技術開発の理解を促
すことができる。また、研究成果な
どの先端技術を体験できる場として
観光客には未来を提供でき、研究者

としては先端技術をより早く社会に実装させるための実証実験の場として利用できる。

関東の第3の空港でもある茨城空港も2040年に向けた訪日観光客の増加の予測からアジアを中心とした観光客の利用が増える可能性が高い。その中で、つくばエクスプレスの東京駅から茨城空港までの延伸構想もあり、中間地点となるつくば市でのインバウンドによる観光収益も大きく見込むことができる。また、筆者の同級生を中心とした若い世代の一高卒業生が多くこの宇宙観光のプロジェクトに参画しており、一高生による茨城再興の取り組みとしても興味深い。2020年の夏にはエキスポセンターや駅前のホテルを利用した実証も始まる予定である。今後の活動に注目していただけると嬉しい。



(株)amulapoのメンバー。一高卒も4名在籍

令和2年度 通常総会はオンライン会議で開催

この度、新型コロナウイルス(covid-19)の感染拡大の現状に鑑み、令和2年度の東進会総会は**参加者を絞った形での縮小オンライン会議**にて6月11日(水)午後6時半に開催し、懇親会は中止とさせていただきます。毎年、同窓生に会うのを楽しみにしていた皆様には大変残念ですが、来年の再開を期してご理解、ご協力をお願い申し上げます。

なお、審議事項につきましては、同封の資料(予算決算、新役員名簿)をご確認いただき、書面表決手続きによる決議、またはオンライン会議への参加のどちらかを選択して、返信用封筒にて5月末日までにご回答くださるようお願いいたします。

また、今年度の東進会年会費3,000円につきましても、5月末日までに同封の振込用紙にてお振込みください。今後の東進会活動を維持していくためにも、引き続き年会費納入にご理解賜りますとともに、会員の皆様からの任意のご寄付もお願いする次第です。ご賛同いただける場合は、一口1,000円からの寄付額を振込用紙にご記入のうえ、会費と合わせてお振込みいただくと幸いです。

【編集後記】

2020年7月24日開催のオリンピックを、世界各国の人たちとインバウンドの仕事を通じて、どのような交流ができるのか、今年の始めまでは、ワクワクドキドキして待っていました。

ところが、ダイアモンドプリンセス号を皮切りに、世界各地で新型コロナウイルスの感染が拡大し、楽しみにしていたオリンピックは来年に延期になってしまいました。現在の状況では確実に開催できるか、とても心配なところです。

予定していたイベント等が次々と中止、延期になりました。まず、4月開催予定の土浦一高進修同窓会総会、東進会の3月のアカンサスクラブ、3月4月5月の謳絆会が中止になり、例年6月に開催されている東進会総会も縮小オンラインにて、開催されることになりました。

本当にこんな日が来るなんて、夢にも思っていないのでした。この事態にお役に立っていませんでした。この事態に役に立ってスキルも何もないので、できることはただ家の中で極力じっとして、感染者にならない、感染を拡大させないことだけです。平凡な毎日がいかに大切なのか、自由に外出し、好きな時に好きな仲間と会うことを制限された生活が、こんなに大変なことなのだと身に染みてわかりました。

今秋、次号「東進60号」が出るころには、コロナウイルスがすべて終息していることを祈るだけです。それまで心を平穏に保ち、皆様と再会できる日を楽しみにしています。

(星川)